

# 第27回 MQI 活動

2022年度MQI統一主題

価値観の転換-守るものと、変えるもの-

2022年度 MQI 活動キックオフ  
推進委員長 柳川達生

第26回医療の質向上（MQI）活動は、令和3年12月4日当院地下講堂にて開催しました。昨年度の統一主題は「おさめるー基本を遵守した医療」でした。新型コロナウイルス感染症の時代、基本に基づき感染症対策等を強化し地域医療をおさめていかなければなりません。今回も昨年度に引き続き、Webと院内会場とのハイブリッド方式で開催いたしました。30の外部機関のサイトと、職員161名が参加し、4チームと質向上プロジェクト3演題計7演題の発表でした。当日は質疑も活発で、外部参加者からの御質問は我々とは異なった視点であり大変参考になりました。



さて安堵もつかの間、27年目の活動が始まりました。今年度の統一主題は「価値観の転換-守るものと、変えるもの-」です。新型コロナウイルス感染症、ウクライナ情勢等による経済の悪化、診療報酬改定、医師の働き方改革、IT化等医療をとりまく環境は大きく変化しております。我々は変化に対応して守るものと変えるべきものを見極めて病院運営していく必要があります。3月18日にキックオフを開催しました。できるだけ多くの職員に参加していただくため、本年度も動画配信です。MQIは業務改善、職員の業務遂行能力・管理能力の向上、部署間調整の推進という目的があります。チーム員のみならず職員の皆様の積極的関与を期待します。

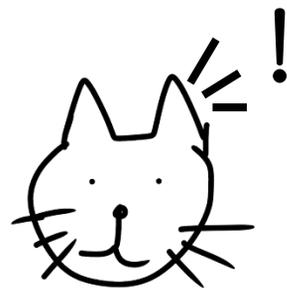
今年も感染予防のため、CoMedixによる動画配信形式となりました。

- |                      |               |
|----------------------|---------------|
| ① 練馬総合病院におけるMQI活動の実践 | (飯田理事長)       |
| ② MQIキックオフ           | (柳川MQI推進委員長)  |
| ③ 改善活動テーマアイデア募集から    | (金内MQI推進副委員長) |
| ④ MQIで実現してきたこと       | (喜多MQI推進委員)   |

CoMedixの「お知らせ」

→「MQI キックオフ」で検索すると、いつでも動画視聴が可能です。

みみより  
MQI



発行（公財）練馬総合病院MQI推進委員会  
〒176-8530 練馬区旭丘1-24-1  
TEL03-5988-2200（代）

## 2022年度参加チーム紹介

テーマ・チーム名 主体部署・リーダー・サブ	チームリーダーからひとこと
『身体抑制した患者数の減少を目指す』 めがせ★ポケモンマスター 看護部 曾根菜津子・稲川実紗	厚生労働省から「身体抑制ゼロに向けての手引き」が出ており、身体抑制の減少や身体拘束廃止の取り組みが進んでいます。当院では病院全体として身体抑制減少に向けての取り組みには至っていないため、身体抑制した患者数の減少を目指す活動を進めます。
『当院職員の健康増進』 鳥かわビッグバン リハビリテーション科 監崎光希・小吹伸也	我々は、当院職員の健康増進という目的で活動を開始しました。職場の健康づくりの環境整備に取り組んでいる企業に対する認定制度である「健康優良企業認定」を参考に、当院における健康づくりの環境を整備していきたいと考えています。
『受付業務の効率化』 受付業務をどうにかし隊 臨床検査科 小宮山海渡・中尾和城	検査科受付には様々な物・人・情報が集中するため、業務が多岐にわたり受付業務が滞る原因となっています。特に混雑の激しい午前中の業務を洗い出し、整理する事で受付業務の効率化を目指し、検査結果報告時間の短縮を図ります。
『職員用の紙削減』 ビッグアイランド 紙削減有志チーム 大島暢・宮本麻耶加	職員向けの紙の削減と紙に伴う労力の削減を目的に活動を行っています。皆さんにご協力いただいたアンケート結果を踏まえて紙に代わる利用な電子機器を探し資料配布がなくとも円滑に会議が進められるよう活動していきたいと思ひます。
『倉庫を整理して物品収納を円滑にする』 掃活隊 事務部 北村智弥・白根晃	病院が現在の場所に移動してきて15年経過し、様々なものを倉庫に置いています。さらにコロナ禍になり、行政などからたくさんの感染対策物品をいただき、倉庫に入りきらず駐車場に仮置きしています。倉庫を整理し、仕組みを整えて円滑な倉庫の物品収納を行うよう活動を進めていきます。
『内視鏡センター運用の最適化』 アッポー(仮) 内視鏡センター 喜多哲史・森下佳子	最大予約枠数に満たない日でも、業務時間内に検査が終了できないことがあります。業務時間の遅延は患者、病院の双方にとって不利益となるため、今回の活動では遅延に繋がる要因を解決し、時間内に業務が終了できることを目標としました。

MQ I 半日で計画を立てる会 2022年5月14日 13時～17時30分

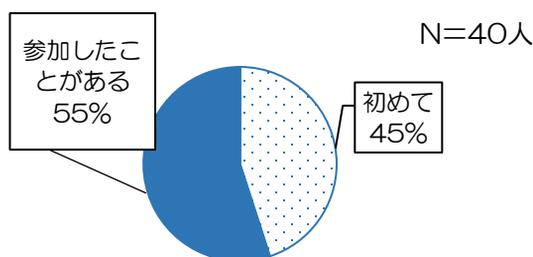
★ 参加の皆さま、お疲れ様でした！ ★

会場参加者 62名、当日Zoom参加 6名、後日録画視聴 16名

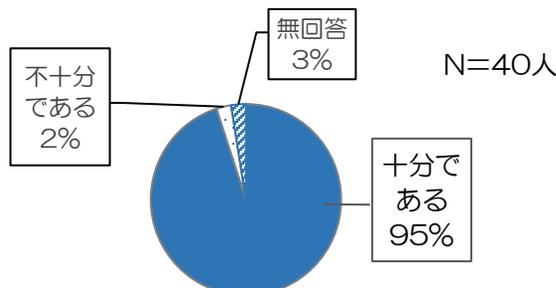


# アンケート結果

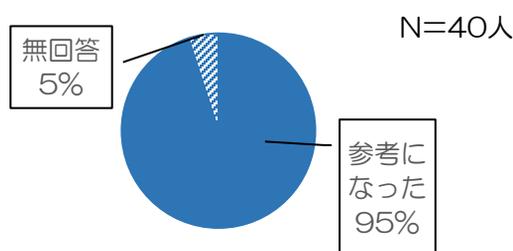
①これまで1日で計画を立てる会に参加したことがありますか



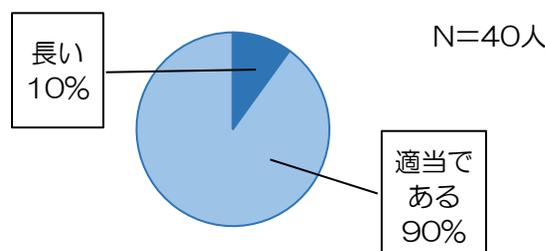
②グループワークに入る前の全体説明に関して



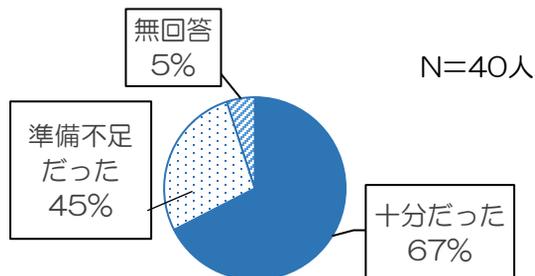
③他のチームの発表を聞いて



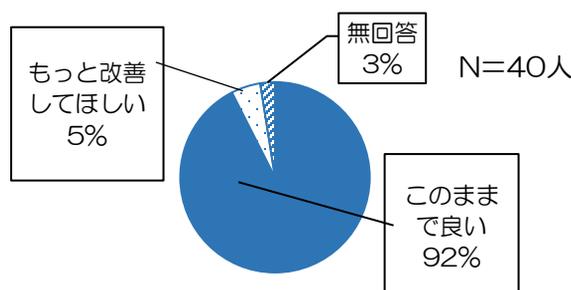
④質疑の時間に関して（全体）



⑤自チームの事前準備について



⑥来年もこのような会を開催する場合



## ～役職者からのコメント一部抜粋しました～

**【内視鏡センターチーム】**件数にこだわらず、予定時間をオーバーした日、予定時間をオーバーした処置等を分析することによって、更に改善点が見えてくると思います。

**【看護部チーム】**抑制はしたくてしているものではなく、不穏などから体動し転倒転落に繋がってしまう、だからさらに強めの抑制をする、不穏が増す、という負のスパイラルに入ってしまったと思っています。何故、不穏になっているか不穏の原因を探り、その不穏を取り除くためにも、抑制カンファレンスが大事だと思います。

**【紙削減有志チーム】**CoMedixで実現できそうな機能を可能な範囲で早めに職員全体で共有できれば、紙削減におけるいろいろなアイデアが出てくるのではと感じました。委員会資料も作成に資源、労力がかかりますので本活動の発展で負担軽減につながることを期待したいです。

**【事務部チーム】**まずは「捨てること」ルールの整備に問題絞ってはいかがでしょうか？いま捨ててよい基準はどうなっているのか、基準が守られていないとしたら何が原因かなどです。どこになにを置くか決めるところまで進むのは厳しいように思います。「使うかもしれないからとっておく」価値観から、「使う使わないを明確に判断し、適切に捨てる」価値観になると統一主題にも合うと思います。

## 【リハビリテーション科チーム】

医療従事者として自己の健康保持は重要であると思います。健康増進に対して、取り組む意欲があるものの実際に行動に至らない要因についても分析をし、アプローチ方法を検討してはいかがでしょうか。職員一人一人の健康に対する意識改革から行動変容につなげる活動はとても意義があると思います。

## 【臨床検査科チーム】

私自身が健診や検査でかかる際に、検査科で待つようなら放射線科に先に・・・等と案内される事があるので、自部署だけでなく、他部署の予約の状況をタイムリーに把握、連携をとり、流れを変更できたら良いと思います。

## 2022年度 MQI 推進委員会メンバー

委員長	：柳川 達生	(院長)
副委員長	：金内 幸子	(医療の質管理室)
委員	：東 宏一郎	(内科医師)
	小谷野 圭子	(質保証室)
	近藤 拓也	(医事課)
	小林 裕子	(質保証室)
	金野 京子	(看護部・5F)
	栗原 真吾	(臨床検査科)
	新貝 高弘	(放射線科)
	齊藤 千絵	(看護部・手術室)
	☆森 美奈子	(薬剤科)
	☆青山 駿	(リハビリテーション科)
事務局	：佐久間 涼司	(人事経理課)

☆はNEWFACE

## 2022年度 MQI 活動予定表

3/18	5/14	6/13、20	8/1、15	10/3	10/19	11月	12/3	2月
(動画配信)	半日で計画を立てる会	チーム別相談会①	チーム別相談会②	発表スライド×切	予演会	報文集作成	<b>発表大会</b>	継続フォローの会

※状況により予定が変更になることがあります

今年度のMQI発表大会は12/3(土)に開催予定です。今年度も発表大会までに報文集作成を完了します。MQIでは活動プロセス評価を導入していますので、提出物の遅れがないよう、×切にご注意ください。

第1回チーム別相談会を6/13(月)、6/20(月)に開催しました。

今後も各チーム、活動計画に沿って、活動を楽しみながら進めていってください。